



勤行要典

妙法蓮華經。方便品。第二。

爾時世尊。從三昧安詳而起。告舍利弗。

諸佛智慧。甚深無量。其智慧門。難解難

入。一切聲聞。辟支佛。所不能知。所以者

何。佛曾親近。百千萬億。無數諸佛。盡行

諸佛。しよぶつ 無量道法。むりやうどうほう 勇猛精進。ゆうみょうしやうじん 名稱普聞。みやうしやうふもん

成就甚深。未曾有法。隨宜所說。意趣難

解。げ 舍利弗。しやりほつ 吾從成佛已來。種種因緣。

種種譬喻。廣演言教。無數方便。引導衆

生。じやうりやうり 令離諸著。所以者何。如來方便。知見

波羅蜜。はらみつ 皆已具足。かいいぐそく 舍利弗。しやりほつ 如來知見。によらいちけん

廣大深遠。こうだいじんのん 無量無礙。むりようむげ 力無所畏。りきむしよゐ 禪定解。ぜんじようげ

脫三昧。だつさんまい 深入無際。じんにゆうむさい 成就一切。じようじゆいつさい 未曾有法。みぞううほう

舍利弗。しやりほつ 如來能種種分別。によらいのうしゆじゆぶんべつ 巧說諸法。ぎようせつしよほう 言

辭柔輒。じにゆうなん 悅可衆心。えつかしゆしん 舍利弗。しやりほつ 取要言之。しゆようごんし 無

量りよう無む邊へん。未み曾ぞう有う法ほう。佛ぶつ悉しつ成じよう就じゆ。止し舍しゃ利り弗ほつ。

不ふ須しゆ復ぶ說せつ。所しよ以い者しゃ何が。佛ぶつ所しよ成じよう就じゆ。第だい一いち希け

有う。難なん解げ之し法ほう。唯ゆい佛ぶつ與よ佛ぶつ。乃ない能のう究く盡じん。諸しよ法ほう

實じつ相そう。所しよ謂い諸しよ法ほう。如に是よ相ぜ。如に是よ相ぜ。如に是よ性しやう。如に是よ體たい。

如に是よ力りき。如に是よ作ぜ。如に是よ因いん。如に是よ緣えん。如に是よ果か。

如によ是ぜ報ほう。如によ是ぜ本ほん末まつ究く竟きよう等とう。

（「所謂諸法」からは三回繰り返して読む）

妙みよう法ほう蓮れん華げ經きよう。如に來よ壽らい量じ品り。第よう十ほ六ん。

爾に時じ佛ぶつ告ごう。諸しよ菩ぼ薩さつぎゆう及いつ。一さい切だい大しゆ衆しよ。諸しよ善ぜん男なん

子し。汝に等とう當とう信しん解げ。如に來よ誠らい諦じよう之たい語し。復ふ告ごう大

衆しゆ。汝に等とう當とう信しん解げ。如に來よ誠らい諦じよう之たい語し。又う復ふ告ごう。

諸しよ大だい衆しゆ。汝に等とう當とう信しん解げ。如に來よ誠らい諦じよう之たい語し。是ぜ

時じ苦く薩さつ大衆だいしゆ。彌勒みろく爲い首しゆ。合掌がつしやう白びやく佛言ぶつごん。世せ

尊そん。唯ゆい願がん說せつ之し。我が等とう當とう信しん受じゆ佛語ぶつご。如に是よ三ぜさん

白びやく已い。復ぶ言ごん。唯ゆい願がん說せつ之し。我が等とう當とう信しん受じゆ佛語ぶつご。

爾に時じ世尊せそん。知ち諸しよ苦薩くさつ。三さん請しやう不ふ止し。而に告ごう之し

言ごん。汝に等よ諦とう聽たいちやう。如に來らい祕密ひみつ。神じん通ずう之し力りき。一いつ切さい

世間。天人及阿脩羅。皆謂今釋迦牟尼

佛。出釋氏宮。去伽耶城不遠。座於道場。

得阿耨多羅三藐三菩提。然善男子。我

實成佛已來。無量無邊百千萬億那由

佉劫。譬如五百千萬億那由佉阿僧祇。

三千大千世界。假使有人。抹爲微塵。過
於東方五百千萬億那由他阿僧祇國。
乃下一塵。如是東行。盡是微塵。諸善男
子。於意云何。是諸世界。可得思惟校計
知其數不。彌勒菩薩等。俱白佛言。世尊。

是ぜ諸しよ世界せかい。無む量りよう無む邊へん。非ひ算さん數じゆ所しよ知ち。亦やく非ひ

心しん力りき所しよ及ぎゆう。一いつ切さい聲ししよう聞もん。辟ひやく支し佛ぶつ。以い無む漏ろ智ち。

不ふ能のう思し惟ゆい。知ち其ご限げん數しゆ。我が等とう住じゆう。阿あ惟ゆい越おつ致ち

地じ。於お是ぜ事じ中ちゆう。亦やく所しよ不ふ達だつ世せ尊そん。如に是よ諸ぜ世しよ

界かい。無む量りよう無む邊へん。爾に時じ佛ぶつ告ごう。大だい菩ぼ薩さつ衆しゆ。諸しよ善ぜん

男子。今當分明。宣語汝等。是諸世界。若

著微塵。及不著者。盡以爲塵。一塵一劫。

我成佛已來。復過於此。百千萬億。那由

佗。阿僧祇劫。自從是來。我常在此。娑婆

世界。說法教化。亦於餘處。百千萬億。那

由^ゆ佗^た。阿^あ僧^{そう}祇^ぎ國^{こく}。導^{どう}利^り衆^{しゆ}生^{じよう}。諸^{しよ}善^{ぜん}男^{なん}子^し。於^お

是^ぜ中^{ちゆう}間^{げん}。我^が說^{せつ}燃^{ねん}燈^{とう}佛^{ぶつ}等^{とう}。又^う復^ふ言^{ごん}其^ご。入^{にゆう}於^お

涅^ね槃^{はん}。如^に是^ぜ皆^{かい}以^い。方^{ほう}便^{べん}分^{ぶん}別^{べつ}。諸^{しよ}善^{ぜん}男^{なん}子^し。若^{にやく}

有^う衆^{しゆ}生^{じよう}。來^{らい}至^し我^が所^{しよ}。我^が以^い佛^{ぶつ}眼^{げん}。觀^{かん}其^ご信^{しん}等^{とう}。

諸^{しよ}根^{こん}利^り鈍^{どん}。隨^{ずい}所^{しよ}應^{おう}度^ど。處^{しよ}處^{しよ}自^じ說^{せつ}。名^み字^じ不^ふ

同。年。紀。大。小。亦。復。現。言。當。入。涅。槃。又。以。

種。種。方。便。說。微。妙。法。能。令。衆。生。發。歡。喜。

心。諸。善。男。子。如。來。見。諸。衆。生。樂。於。小。法。

德。薄。垢。重。者。爲。是。人。說。我。少。出。家。得。阿。

耨。多。羅。三。藐。三。菩。提。然。我。實。成。佛。已。來。

久遠若斯。但以方便。教化衆生。令入佛く おんにやくし たんにほうべん きょうけ しゅじょうりようにゆうぶつ
道。作如是說。諸善男子。如來所演經典。どう さによぜせつ しよぜんなん し によらいしよ えんきょうでん
皆爲度脫衆生。或說己身。或說佗身。或かい い ど だつ しゅじょう わくせつ こしん わくせつ たしん わく
示己身。或示佗身。或示己事。或示佗事。じ こしん わくじ たしん わくじ こじ わくじ たじ
諸所言說。皆實不虛。所以者何。如來如しよしよごんせつ かいじつ ふ こ しよ い しゃ が によらいによ

實じつ知ち見けん。三さん界がい之し相そう。無む有う生しょう死じ。若にやく退たい若にやく出しゅつ。

亦やく無む在ざい世せ。及ぎゆう滅めつ度ど者しゃ。非ひ實じつ非ひ虛こ。非ひ如に非ひ

異い。不ふ如によ三さん界がい。見けん於の三さん界がい。如によ斯し之し事じ。如によ來らい

明みよう見けん。無む有う錯しゃく謬みよう。以い諸しよ衆しゆ生じよう。有う種しゆ種じゆ性しょう。種しゆ

種じゆ欲よく。種しゆ種じゆ行ぎよう。種しゆ種じゆ憶おく想そう。分ぶん別べつ故こ。欲よく令りよう生しょう

諸善根。以若干因緣。譬喻言辭。種種說
法。所作佛事。未曾暫廢。如是我成佛已
來。甚大久遠。壽命無量。阿僧祇劫。常住
不滅。諸善男子。我本行菩薩道。所成壽
命。今猶未盡。復倍上數。然今非實滅度。

而に便べん唱しょう言ごん。當とう取しゆ滅めつ度ど。如に來よ以らい是い方ぜ便ほう。教べん
化け衆しゆ生じよう。所しよ以い者しゃ何が。若に佛やく久ぶつ住く於じゆう世う。薄せ德はく
之し人にん。不ふ種しゆ善ぜん根ごん。貧びん窮ぐ下げ賤せん。貪とん著じやく五ご欲よく。入にゆう
於お憶おく想そう。妄もう見けん網もう中ちゆう。若に見けん如に來よ。常じよう在ざい不ふ滅めつ。
便べん起き憍きよう恣し。而に懷え厭えん怠だい。不ふ能のう生しよう於お。難なん遭ぞう之し。

想そう。恭敬くぎよう之心しん。是ぜ故こ如來にょらい。以い方ほう便べん說せつ。比ひ丘く。

當とう知ち。諸しよ佛ぶつ出しゆつ世せ。難なん可か值ち遇ぐ。所しよ以い者しゃ何が。諸しよ。

薄はく德とく人にん。過か無む量りよう。百ひやく千せん萬まん億のつ劫こう。或わく有う見けん佛ぶつ。

或わく不ふ見けん者しゃ。以い此し事じ故こ。我が作さ是ぜ言ごん。諸しよ比ひ丘く。

如にょ來らい難なん可か得とつ見けん。斯し衆しゆじよう生じやう等とう。聞もん如にょ是ぜ語ご。必ひつ。

當とう生しょう於お難なん遭ぞう之し想そう。心しん懷ね戀れん慕ぼ。渴かつ仰ごう於お佛ぶつ。
便べん種しゆ善ぜん根こん。是ぜ故こ如に來らい。雖すい不ふ實じつ滅めつ。而に言ごん滅めつ。
度ど。又う善ぜん男なん子し。諸しよ佛ぶつ如に來らい。法ほう皆かい如に是ぜ。爲い度ど。
衆しゆ生じよう。皆かい實じつ不ふ虛こ。譬ひ如に良ろう醫い。智ち慧え聰そう達だつ。明みよう。
練れん方ほう藥やく。善ぜん治じ衆しゆ病びよう。其ご人にん多た。諸しよ子し息そく。若に十やくじゆう。

二十。乃至百數。以有事緣。遠至餘國。諸
子於後。飲佗毒藥。藥發悶亂。宛轉于地。
是時其父。還來歸家。諸子飲毒。或失本
心。或不失者。遙見其父。皆大歡喜。拜跪
問訊。善安穩歸。我等愚癡。誤服毒藥。願

見けん救療くりよう。更きよう賜し壽命じゆみよう。父ぶ見けん子し等とう。苦惱く如のう是によ。

依え諸しよ經方きようぼう。求ぐ好藥こうやく艸そう。色しき香こう美味み。皆み悉かい具しつ。

足そく。擣とう筴し和わ合ごう。與よ子しり令よう服ぶく。而に作さ是ぜ言ごん。此し大だい

良藥ろうやく。色しき香こう美味み。皆かい悉しつ具ぐ足そく。汝によ等とう可か服ぶく。速そく

除じよ苦惱くのう。無む復ぶ衆患しゆげん。其ご諸子しよしちゆう中ふ。不しつ失しん心じゃ者。

見^{けん}此^し良^{ろう}藥^{やく}。色^{しき}香^{こう}俱^ぐ好^{こう}。卽^{そく}便^{べん}服^{ふく}之^し。病^{びよう}盡^{じん}除^{じよ}。
愈^ゆ。餘^よ失^{しつ}心^{しん}者^{じゃ}。見^{けん}其^ご父^ぶ來^{らい}。雖^{すい}亦^{やつ}歡^{かん}喜^ぎ。問^{もん}訊^{じん}。
求^ぐ索^{しゃく}治^じ病^{びよう}。然^{ねん}與^よ其^ご藥^{やく}。而^に不^ふ肯^{こう}服^{ふく}。所^{しよ}以^い者^{しゃ}。
何^が。毒^{どつ}氣^け深^{じん}入^{にゆう}。失^{しつ}本^{ほん}心^{しん}故^こ。於^お此^し好^{こう}色^{しき}香^{こう}藥^{やく}。
而^に謂^い不^ふ美^み。父^ぶ作^さ是^ぜ念^{ねん}。此^し子^し可^か愍^{みん}。爲^い毒^{どく}所^{しよ}。

中^{ちゆう}心^{しん}皆顛倒^{かいてんどう}。雖^{すい}見^{けん}我^が喜^き。求^ぐ索^{しゃつ}救^{くり}療^{りよう}。如^に是^ぜ

好^{こう}藥^{やく}。而^に不^ふ肯^{こう}服^{ぶく}。我^が今^{こん}當^{とう}設^{せつ}方^{ほう}便^{べん}。令^{りよう}服^{ぶく}此^し

藥^{やく}。卽^{そく}作^さ是^ぜ言^{ごん}。汝^に等^{とう}當^{とう}知^ち。我^が今^{こん}衰^{すい}老^{ろう}。死^し時^じ

已^い至^し。是^ぜ好^{こう}良^{ろう}藥^{やく}。今^{こん}留^る在^{ざい}此^し。汝^に可^か取^{しゅ}服^{ぶく}。勿^{もつ}

憂^つ不^ふ差^{さい}。作^さ是^ぜ教^{きよう}已^い。復^ぶ至^し佗^た國^{こく}。遣^{けん}使^し還^{げん}告^{ごう}。

汝によ父ぶ已い死し。是ぜ時じ諸しよ子し。聞もん父ぶ背はい喪そう。心しん大だい憂う。
惱のう而に作さ是ぜ念ねん。若にやく父ぶ在ざい者しゃ。慈じ愍みん我が等とう。能のう見けん。
救く護ご。今こん者じゃ捨しゃ我が。遠おん喪そう佗た國こく。自じ惟ゆい孤こ露ろ。無む。
復ぶ恃じ怙こ。常じよう懷え悲ひ感かん。心しん遂ずい醒しよう悟ご。乃ない知ち此し藥やく。
色しき香かう味み美み。卽そく取しゆ服ぶく之し。毒どく病びよう皆かい愈ゆ。其ご父ぶ聞もん。

子し。悉しつ已ち得とく差さい。尋じん便べん來らい歸き。咸げん使し見けん之し。諸しよ善ぜん

男子なんし。於お意い云うん何が。頗は有う人にん能のう說せつ此し良ろう醫い。虛こ

妄もう罪ざい不ふ。不ほつ也ちや。世せ尊そん。佛ぶつ言ごん。我が亦やく如によ是ぜ。成じよう佛ぶつ

已い來らい。無む量りよう無む邊へん。百ひやく千せん萬まん億のく。那な由ゆ佗た。阿あ僧そう

祇ぎ劫こう。爲い衆しゆ生じよう故こ。以い方ほう便べん力りき。言ごん當とう滅めつ度ど。亦やく

無^む有^う能^{のう}。如^に法^{よほう}說^{せつ}我^が。虛^こ妄^{もう}過^か者^{しゃ}。爾^に時^じ世^せ尊^{そん}。

欲^{よく}重^{じゅう}宣^{せん}此^し義^ぎ。而^に說^{せつ}偈^げ言^{ごん}。

自^じ我^が得^{とく}佛^{ぶつ}來^{らい}。所^{しよ}經^{きよう}諸^{しよ}劫^{こつ}數^{しゆ}。無^む量^{りよう}百^{ひやく}千^{せん}萬^{まん}。

億^{おく}載^{さい}阿^あ僧^{そう}祇^ぎ。常^{じよう}說^{せつ}法^{ぽう}教^{きよう}化^け。無^む數^{しゆ}億^{おく}衆^{しゆ}生^{じよう}。

令^{りよう}入^に於^{ゆう}佛^お道^{ぶつどう}。爾^に來^{らい}無^む量^{りよう}劫^こ。爲^い度^ど衆^{しゆ}生^{じよう}故^こ。

方便現涅槃。

而實不滅度。

常住此說法。

我常住於此。

以諸神通力。

令顛倒衆生。

雖近而不見。

衆見我滅度。

廣供養舍利。

咸皆懷戀慕。

而生渴仰心。

衆生既信伏。

質直意柔軟。

一心欲見佛。

不自惜身命。

時じ我が及ぎ衆しゆ僧そう。

俱く出しゆ靈り鷲よう山じゆ。

我が時じ語ご衆しゆ生じよう。

常じよう在ざい此し不ふ滅めつ。

以い方ほう便べん力りつ故こ。

現げん有う滅めつ不ふ滅めつ。

餘よ國こく有う衆しゆ生じよう。

恭く敬ぎよう信しん樂ぎよう者しや。

我が復ふ於お彼ひ中ちゆう。

爲い說せつ無む上じよう法ほう。

汝に等とう不ふ聞もん此し。

但たん謂に我が滅めつ度ど。

我が見けん諸しよ衆しゆ生じよう。

沒もつ在ざい於お苦く海かい。

故こ不ふ爲い現げん身しん。

令りよう其ご生しょう渴かつ仰ごう。因いん其ご心しん戀れん慕ぼ。乃ない出しゅつ爲い說せつ法ぽう。

神じん通ずう力りき如によ是ぜ。於お阿あ僧そう祇ぎ劫こう。常じよう在ざい靈りよう鷲じゆ山せん。

及ぎゆう餘よ諸しよ住じゆう處しよ。衆しゆ生じよう見けん劫こう盡じん。大だい火か所しよ燒しょう時じ。

我が此し土ど安あん穩のん。天てん人にん常じよう充じゆう滿まん。園おん林りん諸しよ堂どう閣かく。

種しゆ種じゆ寶ほう莊しょう嚴ごん。寶ほう樹じゆ多た華け果か。衆しゆ生じよう所しよ遊ゆう樂らく。

諸しよ天てん擊ぎ天てん鼓く。常じよう作さつ衆しゆ伎ぎ樂がく。雨う曼まん佗だ羅ら華け。

散さん佛ぶつ及ぎ大だい衆しゆ。我が淨じよう土ど不ふ毀き。而に衆しゆ見けん燒しよう盡じん。

憂う怖ふ諸しよ苦く惱のう。如によ是ぜ悉しつ充じゆう滿まん。是ぜ諸しよ罪ざい衆しゆ生じよう。

以い惡あく業ごう因いん緣ねん。過か阿あ僧そう祇ぎ劫こう。不ふ聞もん三さん寶ぼう名みよう。

諸しよ有う修しゆ功く德どく。柔にゆう和わ質しち直じき者しゃ。則そつ皆かい見けん我が身しん。

在此而說法。

或時爲此衆。

說佛壽無量。

久乃見佛者。

爲說佛難值。

我智力如是。

慧光照無量。

壽命無數劫。

久修業所得。

汝等有智者。

勿於此生疑。

當斷令永盡。

佛語實不虛。

如醫善方便。

爲治狂子故。

實在而言死。

無能說虛妄。

我亦爲世父。

救諸苦患者。

爲凡夫顛倒。

實在而言滅。

以常見我故。

而生憍恣心。

放逸著五欲。

墮於惡道中。

我常知衆生。

行道不行道。

隨應所可度。

爲說種種法。

每自作是念。

以い何が令り衆よう生し。
得とく入に無む上じ道よう。
速そく成じ就よう佛じ身ゆ。
佛ぶつ身しん。

朝夕の勤行と御観念文（夕は初座と四座を除きます）

初座 諸天供養（初座は鈴りんを打ちません）

初めに御本尊に向かって題目を三唱したのち、東に向かって題目を三唱し、方便品・自我偈を誦し、引き題目（三回、以下同じ）。終わって題目三唱の後、次の内容を心の中で念じます。

しよてんぜんじん　ちゆうや
諸天善神の昼夜にわたる守護しゆごに感謝かんしゃし、
いこうせいりよく
威光勢力・法味ほうみ
ばいぞう
倍增ばいぞうのために。

と観念の後、題目三唱します。

二座 本尊供養

御本尊に向かい、鈴を打ち、方便品を読誦し、鈴。寿量品の長行・自我偈・引き題目を唱え、鈴。題目三唱の後、次の内容を念じます。

一いちえん閻浮提ぶだいそうよ総与、さんだいひほう三大秘法の大御本尊だいごほんぞんに南無なむし奉り、たてまつ報恩感ほうおんかん

謝しゃもう申し上げあます。

と観念の後、題目三唱します。

三座 三師供養

鈴を打ち、方便品を読誦し、鈴。自我偈・引き題目を唱え、鈴。題目三唱の後、次の内容を念じます。

まっぼう　ごほんぶつ　にちれんだいしょうにん　なむ　たてまつ
末法の御本仏・日蓮大聖人に南無し奉り、
ほうおんかんしゃもう　あ
報恩感謝申し上
げます。
と観念の後、題目三唱します。次に

ほんもんぐずう　だいどうし　にっこうしょうにん　なむ　たてまつ
本門弘通の大導師・日興上人に南無し奉り、
ほうおんかんしゃもう
報恩感謝申し
あ
上げます。
と観念の後、題目三唱します。次に

いちえんぶだい　おんざす　にちもくしょうにん　ほうおんかんしゃもう　あ
一閻浮提の御座主・日日上人に報恩感謝申し上げます。

と観念の後、題目三唱します。